

# 私たちは地域密着ラジオです！ 災害時には安心と安全を伝えるメディア

長岡移動電話システム株式会社（FMながおか）  
代表取締役社長

脇屋 雄介



「FMながおか」は地域限定の  
コミュニティ放送局です。

新潟県の中央部に位置する県内  
第二の都市、長岡市にあります。

コミュニティFM放送エリア  
は、長岡市・小千谷市・見附市・  
出雲崎町の四つの行政区域で業務  
を行っています。社名は「長岡移  
動電話システム株式会社」。

平成四年に事業を始めた通信会  
社が前身で、平成十年からコミュ  
ニティFM放送の事業を行って  
います。

この度は、当社が長年行ってきた  
行政相談制度及び行政相談委員  
制度の広報活動に対して、令和四



令和四年度全国行政相談委員連合協議会会長感謝状贈呈式



年度全国行政相談委員連合協議会  
会長感謝状をいただき、誠にあり  
がとうございました。

FMながおかは、開局して今年  
で二十五年を迎える地域密着コ  
ミュニティFMラジオ局です。

### FM長岡花火中継

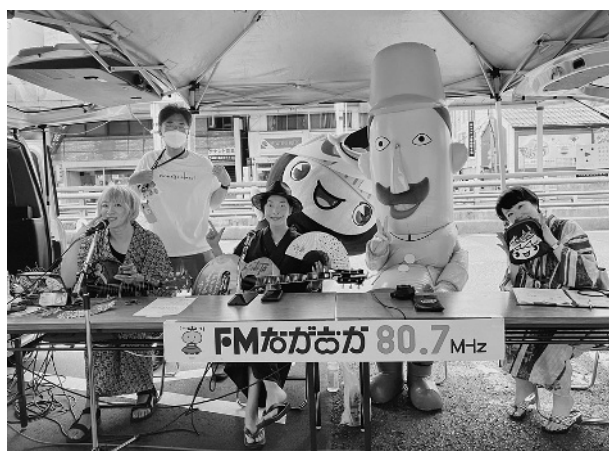
長岡の大花火大会は、長岡市中  
央部にある川幅約1kmの大河、信  
濃川で打ち上げられ、毎年百万人  
を超す観客が集まる大イベントで  
あります。8月2日と3日の夜、  
マニアックな解説で楽しまれてい  
る花火中継特別放送。長岡花火は  
全国でも珍しい「慰霊 復興 平  
和」という想いが込められた花火  
大会です。一般財団法人長岡花火  
財団をはじめ、たくさんの方の想  
いが込められて運営できていま  
す。

花火中継のコンセプトは、ラジ  
オという音で、一発一発に込めら  
れた「熱」をきちんと伝えること  
です。その上で、ただ「きれいだ  
ね」だけではない花火の形や色、  
打上げ方、その背景にあるものと

いったコアな情報も伝えて、楽し  
んでいただくことができます。

観覧会場で見ている人は、花火  
アナウンスやミュージックスター  
マインの音楽が聞こえてきます  
が、長岡花火はご自宅の庭、近く  
の公園、山の上、広大な田んぼの  
中など、観覧会場から離れたところ  
で見ている方々がたくさんいま  
す。それも花火の楽しみ方です。  
そんなみなさんが、花火が発する  
音はもちろん、場内アナウンスや  
音楽など、ラジオを聴きながら長  
岡花火と一緒に楽しむ。やはり、  
音があつて初めて完成するお祭り  
だと思っています。

最近では、一般財団法人長岡花火  
財団公式YouTubeのライブ配信  
で、花火の映像とラジオの音声を  
一緒に楽しむことができ、視聴者  
は世界に広がります。しかし、時  
代が変わってもFMながおかは花火  
中継のコンセプトは変わりませ  
ん。観覧会場から離れたところで  
FMながおかを聴きながら長岡花  
火を見ている人に、その音を送り  
続けるのです。花火大会とラジオ



FMながおかスタジオを飛び出して イベント放送

はすごく相性が良いと感じていま  
す。

また長岡の大花火大会の他に、  
小千谷市片貝の世界一の四尺玉花  
火大会もFMながおかで実況中継  
を行っています。

### 大地震による災害放送

平成十六年十月二十三日、震度  
七の大地震が発生しました。新潟  
県中越地震です。

停電・火災・山崩れの発生する  
中、当社は、直ちに被災者に向け  
て災害情報の放送を行いました。

私もスタジオに入り、長岡市内の被害状況を伝え始めました。時々大きな余震で、机につかまりながら放送しました。市役所の対策本部へもスタッフが出向き、被災情報を放送することができました。

中越地震発生から放送内容は時間と共に変化。被災情報、安否情報、避難所情報、小中学校・保育園の休校情報、病院の入院患者の安否情報、ライフライン放送。海外からの在住者への多言語放送等多岐にわたる放送内容でした。地震発生から三日後に、総務省から臨時災害放送の免許が下りました。既在のコミュニティ放送局「FMながおか」そのものが長岡市の臨時災害放送局になった国内初の事例となりました。このことが、後の東日本大震災における臨時災害放送局の多くを既存のコミュニティFM放送局から直ちに臨時災害放送局に移行するきっかけとなりました。

新潟県中越沖地震や東日本大震災においても当社は現地に出向き、臨時災害放送局の立ち上げや

放送機器の協力等の支援をしてきました。

昨年(令和四年十二月)の新潟県中越豪雪の時も、道路渋滞情報を昼夜伝えることができました。

### 緊急告知FMラジオの導入

コミュニティFM放送局の緊急告知FMラジオは、災害時に行政からのJ-ALERTなどの緊急放送を、コミュニティFM局の電波を利用して割込み放送をするもので、今までの防災無線システムを補完するシステムとして全国へ広がっています。

FMながおかでは、中越地震の二年後に長岡市と契約し導入したもので、国内初導入となっています。市役所の防災本部に緊急割込みリモート装置を置き、FMながおかまで専用線で接続し、災害時に直ちに放送が可能となっています。

信頼のある長岡の方式は、全国で二十万台以上に広がっており、海外においても実証試験を行っています。これら各戸へ配布してあ

る緊急告知ラジオ端末の他に、屋外柱上スピーカーからの情報伝達も長岡市内において177個所に設置済で災害対応として運用されています。

以上FMながおかの取り組みできたものを紹介しました。

当社では「行政相談制度」及び「行政相談委員制度」について、新潟行政評価事務所の担当職員の方々に放送番組に出演していただき、「行政相談」という制度を、ラジオを通じて直接リスナーに届けることができ、さらにラジオCMも含め広報活動が高く評価されています。

私どもがお手伝いさせていただいている広報活動が、行政相談委員の活動の支援となることを願っております。

今後より良い私たちの暮らしのために活動されている行政相談委員の皆様のみならずのご活躍を期待しております。